

再生可能エネルギーの接続可能量(系統WG検証中) および再エネ連系状況

1. 現行制度における太陽光接続可能量

	接続可能量
太陽光	552 万 kW

(注) 接続可能量は、太陽光を複数のグループに分けて必要なグループ数だけ出力抑制を実施することを前提に算定。

・再生可能エネルギーを最大限受け入れるための方策

対象	方策
揚水発電	昼間帯に揚水運転を実施
水力発電 (揚水除く)	調整力が見込める水力は最大限の出力調整を実施
火力発電	調整能力の高いユニットの運転を優先しつつ、需要に対応できることを前提に最大限出力を抑制または運転を停止
その他	現行の固定価格買取制度で認められている 500 kW 以上の太陽光と風力について年間 30 日の出力抑制を想定

2. 太陽光接続可能量算定にあたっての他の再生可能エネルギーの導入想定量と連系状況

	接続可能量 [系統WGで検証中] (a)	連系確定分 [11月30日現在] (b)	残り (a-b)
太陽光	552.0 万 kW	583.6 万 kW	—

	導入想定量 (c)	連系確定分 [11月30日現在] (b)	残り (c-b)
水力	311.1 万 kW	311.1 万 kW	0
地熱	31.0 万 kW	31.0 万 kW	0
バイオマス	69.8 万 kW	69.8 万 kW	0
風力	200.0 万 kW	169.9 万 kW	30.1 万 kW

(注) 連系確定分は、固定価格買取制度にもとづく案件を含め、既に当社系統へ連系している案件と以下の案件を含む

➤ 太陽光、水力、地熱、バイオマス

- ・特別高圧・高圧連系 : 本年 9 月 30 日までに連系申込みを受付した案件
- ・低圧連系 : 本年 11 月 30 日までに連系申込みを受付した案件

➤ 風力 : 本年 11 月 30 日までに連系申込み等を受付した案件。ただし、出力一定制御型 (7.1 万 kW) を除く